

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月12日

事業所名 放課後等デイサービス のぞみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動の場を設けました。	
	2 職員の配置数は適切である	○		・普段の支援に加え、行事等の活動に応じて人数を増やしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			・階段、トイレ、部屋の段差等のバリアフリー化がされていない箇所につきましては、利用者の安全を考慮し改善できるよう検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝のミーティング時で情報交換等を行っています。また、職員会議を設け、月の予定や反省を共有する時間を設けています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・検討中です。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・積極的に研修受講を促しシフトの勤務調整を行っています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別支援会議開催し情報共有に努めています。	送迎時等や面談での会話や子供の様子から、ニーズや課題をくみ取っていきたくと思っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・標準化されたシートについては、今後検討していきたいと思っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・日々のミーティングやチームで行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・興味の幅など子供ニーズに合わせて工夫はあるが、休日や長期休暇を利用し地域との交流や社会参加、季節の自然に触れる目的として外出活動を増やせたらと思っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・上記と同じ
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個々のニーズや状況に応じた取り組みを取り入れるように心がけています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝のミーティングで、その日の役割分担を確認します。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・朝のミーティングで、前日の振り返りを行っています。その日の支援の振り返りは行えていません。	
関係機	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日誌以外に気づきの記入を設け、支援の改善に繋げています。	
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・支援後の日誌以外に気づきを記入し、個別支援会議を設け検討会を行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・ガイドラインを意識して実施しています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
関係機	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・利用者の保護者の了承の上、学校訪問を行い支援に活かしています。	・送迎の予定変更等は必ず職員全員が周知し対応できるよう徹底していきたいと思っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・該当者なし ・必要に応じて検討していきたいと思っています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		・今年度は、児童発達事業所との連携をとっています。

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・該当者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・専門機関と連携し、助言や研修内容を職員で共有しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・希望はあるが実現には至っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		・市町村に自立支援協議会の設立無し
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時やお迎え時に保護者に対して、丁寧に報告したりするように心がけています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・保護者支援に対し、検討していきたいと思えます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		・重要事項説明時に報告するように心がけています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者様から子育ての相談等があった場合は、随時承り丁寧な対応を心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・両親が就労していたり、時間の設定が難しく開催に至っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・迅速に対応することを心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・月1回行事予定等の情報を配布しています。会報につきましては検討していきたいと思えます。
	35	個人情報に十分注意している		○		・同意書を交わし、書類は施錠できるロッカーで管理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		連絡帳等にて、その日の内容や様子を視覚で理解できるようにしています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		契約児童以外でも、参加できるイベントのお知らせを行い、参加できるようにしています。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・保護者へ周知できるよう、季節等に合わせてマニュアルを配布したり、説明会等も検討していきたいと思えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		・活動の場での利用にあたり、必要な訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・法人内研修を行っています。職員が研修に参加出来るようにシフト調整を工夫しています。	・法人内研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	-	-		・現在、該当無し。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-		・現在、該当無し。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		・法人全体でインシデントレポートを作成し、事故の再発に努めています。	